

通学路の本格的
な安全策を要請

【福岡・糸島市議会】

笹栗純夫議員は、国が今年1月に発表した「通学路の緊急合同点検」において、市内通学路の44カ所が対策必

要箇所となっていることを指摘。子どもを交通事故から守る通学路の安全対策の重要性を訴え、「路肩のカラー舗装など本格的な対策を実施するべきだ」と市に対応を求めた。

これに対して市側は、国の防災・安全交付金事業で対策必要箇所のうち、24カ所のカラー舗装が決定していると述べ、「今後も対策を進めていきたい」と答弁した。